

平成19年6月26日(火)

増刊

AJU通巻7990号

昭和54年8月1日

第3種郵便物認可

AJU 愛実

第1号

発行者：NPO法人愛実の会

愛実友だちの家



鶴舞公園

大地の家



熱田祭り

紙風船



アルミ缶回収

今後の予定（7月～9月）

| | 大地の家 | 愛実友だちの家 | 紙風船 |
|----|--|---|--|
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> 七夕 土用丑 名古屋港水族館 | <ul style="list-style-type: none"> 水族館 | <ul style="list-style-type: none"> 施設見学(4日) 江南市くるみの里 イエローレシート(11日) |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> プール (日光川など) | <ul style="list-style-type: none"> 科学館 | <ul style="list-style-type: none"> 飯田人形劇フェスタ公演 (4日) 夏季休暇(14日) 大府公演(25日) |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none"> 敬老の日 十五夜 | <ul style="list-style-type: none"> NHKで撮影体験 (予定) | <ul style="list-style-type: none"> 施設見学 レクリエーション イエローレシート(11日) |

自由への道のり

フランスのトロリー村にジャン・バニエという人が住んでいます。彼は今から42年前にトロリー村で、家の無い二人の青年知的障がい者と一緒に生活をはじめました。その家は「ラルシュ・ホーム(箱舟)」と名づけられました。20年前、ジャンは来日しました。その時に私と娘の陽子はジャンに出会ったのです。彼は意志の疎通が出来ないと思われている娘を、高貴な婦人に接するように遇しました。無言で笑いあい、握手している二人。ジャンの姿はこう語っていました。「陽子さん、一生懸命に生きてきましたね。私はあなたを尊敬していますよ。神様もあなたを大事に思っていますからね。」

「尊敬しています」この言葉こそ、私にとっても解放でした。障がいを持って生きる人にとって苦しいのは人に軽んじられるということではないでしょうか。あの出会いから20年。陽子は12年前に天に帰りました。私はまだ「愛実の会」にいて、娘の友人たちの傍にいたいと願っています。ジャンがそうしてくれたように、心の中で「あなたを尊敬しています」と言っています。

ラルシュの憲法では、① 互いの独自性(宗教も個性も習慣も)を尊重すること、② 互いに変容(成長)していくことを大事にするそうです。

誰かと一緒に仕事をしていると、価値観のあまりの違いに「あいや、長生きし過ぎた～」と思ったりしますが、「さてよ、そういうのもおもしろいかも」と教えられます。こうして、不自由な面を抱えていた自分が、少しずつ自由になってきた気がします

NPOになって4月からの新しい体制づくりに、すべてのアシスタントとメンバーとご家族が協力して下さいました。三つの家それぞれに、豊かでユニークです。みなで議論し、考えながら歩む道は時間が掛かります。辛いけれど、そのようにして営まれているメンバーとの生活は傍から見ていると、細かいアイデアと慈しみに満ちています。ありがたいなあと思っています。

皆様、愛実の会を見守って下さりありがとうございます。

この会報を通して、共に生きる喜び、希望を受け取っていただければと願っております。

暑くなります。どうぞお健やかに過ごしてください。

NPO愛実の会理事長 島 しづ子

特定非営利活動法人 愛実の会 スタートしました。

かねてより準備を進めてきました、特定非営利活動法人（NPO）愛実の会 の生活介護（ディサービス）と居宅介護（ホームヘルプ）が本年4月1日付けで、愛知県より認可いただき無事スタートすることが出来ました。これもひとえに、利用者・ご家族、スタッフはじめ、ご支援いただきました皆様のおかげと厚くお礼申し上げます。

スタートに伴い、ディサービスの通所施設も3カ所（大地の家・紙風船・愛実ともだちの家）になり、また利用者（メンバー）の方も25名と大きくなっています。しかし、なにぶん新しい組織であり不慣れな点、準備不足も多くご迷惑をかけていることも多々あると思いますのでご遠慮なく、ご指導・ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

さて無事スタートしたNPO愛実の会ですが、利用者の一人にJ君という方がいます。J君はNPOが始まる前、3月中旬に肺炎で病院に入院されました。最初は短期間で退院できる見通しでしたが、実際は5月末まで2ヶ月以上の入院となりました。重度の障害を持ったメンバーの入院では、ご家族の方の付き添いが必要となります。特にJ君は夜間も30分おきくらいに退位変換とマッサージが必要です。J君のご両親は入院中の2ヶ月間毎日徹夜で付き添われました。私たち愛実の会も、少しでもご両親に休んでいただくため、昼間にボランティアで職員を付き添いするため派遣しました。そして退院後も毎週2回、と深夜と昼間の介護のお手伝いをしています。厳しい職員不足に加え、徹夜での深夜介護は職員の勤務に大きく負担をかけます。でもこの話が出たとき、ほとんどの職員が、協力して深夜介護を手伝いたいと申し出てくれました。本当に感謝するばかりです。

形としてNPO愛実の会が形としてスタートできたことより、J君の介護を通して名前のおり愛が実る 第一歩を踏み出せたことを心からうれしく思っています。そして私たちメンバーと職員一同はJ君がまた元気な笑顔でディサービスに帰ってくれる日を心より待っています。

鈴木 由夫

リフトつき車両を寄贈いただきました。



赤い羽根共同募金会様と連合愛知助け合い運動様から、かねてより寄贈予定のレジアスエース(乗車定員10名内車椅子が4台乗)リフト付車両が6月8日納車されました。

早速、送迎にお出かけにと大活躍です。とても大きく乗り心地がよく、利用者メンバーやアシスタントにも評判は上々です。

赤い羽根共同募金・連合愛知様のご好意に心から御礼申し上げます。

事務局 中森由哉

愛実友だちの家のページ (P3~4)

だんだんと暑さも増してきましたがみなさんお変わりありませんか？
今回は、NP愛実の会としての記念すべき第一号会報ということで、愛実友だちの家の自己紹介をしたいと思います。

☆☆愛実友だちの家ってどんなところ？☆☆

2000年4月から、大地の家・紙風船と共に、【生活介護】の場として、新たなスタートを切った愛実友だちの家(通称:愛実の家)は、愛実の会の中でも特に、医療的ケアを必要としているメンバーを中心に構成されています。

もともとは教会として使っていた家を譲り受けたという背景から、家庭的な雰囲気の中、活動を行なっています。

.....

園芸コーナー ミニひまわり&ワイルドフラワー編



①4月初旬に蒔いた種から、小さな芽が出てきました！

②ワイルドフラワーの方が育ってるかな？早く花が咲くといいね！



☆☆どんなことをやっているの? ☆☆

『ゆったりとした時間の中で、五感を刺激し、

達成感も得ることで、日々を楽しむ』

愛実の家が今年たてた目標です。この目標を軸に、散歩に出かけたり、音楽を聴いたり、楽器を演奏したり、体ほぐしをしたり、感触遊びをしたり、時には車で少し遠方まで出かけたり・。また、長期的な取り組みとして、アルバム作りや、園芸も始めました。

まだまだよちよちと歩き始めたばかりの新生「愛実の家」ですが、メンバーが健康で豊かな生活を送れるように支援し続けていけたら、と願っています。温かい目で見守っていただけたら幸いです。



④大きくな～れ!
肥料をやっています。



⑤みんなで成長を
見守ります。



⑥6月半ば、ついに、一輪
のひまわりが花を咲かせま
した!!みんなで鑑賞し
て楽しみました。
次は何を育てようかなあ?

大地の家

(P5～6)

おでかけレポート・花見へGO★

4月の上旬から中旬にかけて花見へ出かけました。

山崎川と笠寺観音の二ヶ所へ行きましたが、ともに午前中に出かけることができ、午後は室内でゆったりと過ごしました。



↑ 山崎川にて記念撮影★

まず初めに山崎川へと向かいましたが、肝心の桜は4分咲き程度でまだまだでした。残念ながら桜は楽しめませんでしたが、川沿いの小道をみんなで歩き、持参したお茶を飲み、良い気分転換になりました。



↑ 笠寺観音にて・満開の桜を堪能♪

山崎川での苦い思いを胸に、リベンジをかけ南区の笠寺観音へ再び花見に出かけました。ちょうど「**笠寺観音・六の市**」と同じ日に行くことができ、境内には露店がたくさんあり、多くの人でにぎわっていました♪境内の通路よりもずいぶん高いところに賽銭箱がありました。大きなスロープがあったので、

みんなで賽銭箱まで行きお参りすることができました★

屋台を見たりしながら境内を散策し、その後メインの花見を堪能しました。池のほとりに大きな桜の木が数本あり、ちょうど満開だったので、桜のボリュームに圧倒されるほどでした。気候も良く、間近に桜を見ることができ、メンバーもアシスタントも大満足でした★

新企画① みんなで作ろうおいしいお菓子♪

4月より新企画として、毎週火曜日の午後お菓子づくりの活動が始まりました。

第一回はホットケーキミックスを使い「ワッフル」と「たこ焼き型プチケーキ」をつくりました。あま〜い匂いにメンバーの目がキラリ☆出来上がったお菓子里に生クリームとチョコソースをお好みでトッピングしました。

泡立て器を使って上手にホットケーキミックスを混ぜたり、レードルをしっかりと握って生地を型に流し込んだり、アシスタントとメンバーが協力してお菓子を作り上げました★

しかし、時にはホイップクリームを「ギュ〜っ」と強く握り締め…あたり一面にホイップクリームが散乱してしまったり、ボウルがひっくり返りそうになったりと、ハプニングも沢山ありました。

これからは暑くなる一方ですので、メンバーとも相談しながら涼しいお菓子・おやつを作っていきたいなあと思います♪



↑真剣なまなざしでお菓子を作成中!!

新企画② 足の裏をつけて歩こう★

身体に関する活動としてメンバーとどんな事に取り組めるかと考え、「足の裏をしっかりとつけて歩こう」という活動を始めることになりました。

実際に取り組んでみると、メンバーそれぞれにできる範囲で頑張っていたでき、愉しんで取り組むことができました。まだ3回活動しただけですが、その中でもメンバーの色々な変化を感じ、一緒に愉しんで取り組んでいけそうかなと感じています。

足の裏をしっかりとつけて歩くということは、ただ単に足の裏がしっかりとつくというだけではなく、足首、膝、股関節、骨盤、腰、上体と積み上がっていく土台になる部分のため、足の裏で感じたり、しっかりとつける事により身体全体が改善できることにも繋がればとも思っています。



紙風船ペ〜ジ

(P7~11)

こんにちは！紙風船です！

私たちは、人形劇というとても珍しい活動に取り組んでいます。これまで、学校や幼稚園、地域のお祭りなどで公演活動が続けてきました。今回、愛実の会の一員となり「生活介護」として仲間たちの豊かな生活を目指すとともに、人形劇という表現活動をとおして、社会へ何か伝えることが出来たら……。仲間たちの笑顔と元気を一人でも多くの人に伝え、心動かす人形劇をこれからもしていきたいと思っています。

愛実の会の皆さん、これからどうぞよろしくお願いたします！



今後の公演予定

- ☆ 8月 4日 (土) 飯田人形劇フェスティバル「ボーちゃん」
- ☆ 8月 25日 (土) 大府ひまわりグループ公演「ボーちゃん」
- ☆ 10月 ハペットフェスティバル参加予定

公演依頼募集中

学校の行事や地域のイベントなど、ぜひ紙風船を呼んでください！
心温まる人形劇を皆さんにお届けします☆

ピュア ハート

南 寿 樹

「先生、ひろみちゃんが倒れた」 まさえの声に現場に行ってみると、ひろみ(高1)が担任の先生に抱えられる形でぐったりとしている。やがて二度、三度痙攣(けいれん)を起こし、口の端から泡が…「てんかん発作だ！」すぐにわたしは担任の先生と協力して呼吸確保をし、安静な姿勢にする。

周りを見ると、不安な顔でのぞき込む男子たち3人の向こうで、女子たち4人がかたまっただけ泣いている。目を真っ赤にして、無言でハンカチを使って涙をぬぐっている。

「心配しなくていいよ。すぐにおさまるから」と声をかけるが、女子たち4人の涙はなかなか止まらない。――

この4月に転勤してきた大府養護学校は、病弱の児童生徒を対象にした学校である。わたしは高2の担任になった。しかし全学年でも13人という生徒数。学年を超えた活動が多い中で、わたしは、生徒たちの「純真な心」(ピュアハート)に出会った。

――涙を流す女子たち。彼女たちにはいつも明るいひろみが目 앞에서苦しんでいる姿がショックだったと同時に、これまで病気で苦しんできた自分の姿と重なったのだろう。

ただ、友を心配し泣けるほどの優しい心は、またとても弱く、もろい面も持っていた。バトミントンがうまくできずに食事も喉を通らず、友だちの声かけにも答えられなくなるまさえ。そしてそのまさえに声をかけているのに、返事もしてくれないからと落ち込み、授業も受けられないさち。学校の机の中にプリントが入っていたか確かめずに帰ってしまったことが気になり、もう学校に行けないと電話をかけてくるきょうすけ…。

そのデリケートさは、顕微鏡のプレパラート(薄い板状のガラス)を思いおこさせる。このことは港養護学校の生徒たちの中にも同じようにみられたが、ではどうするか…わたしは「笑いとゆるみ」で安心できる雰囲気を作り、丸ごと受け止めることにした。

「ねえ、聞いて。先生あのね、ぼくなんかさあ中学校のとき、めっちゃいじめられとったんだって。辛かったに」「先生、わたし、なんか怒れてくるんだて。ねえ、蹴っていい?」

「母親というのは、我が子のことを分かっちゃいないのに、干渉したがるものなんですよ。うちもぼくのこと分かってくれてないし」「先生、なんかして遊ぼ」…

次々と屈託なく話しかけてくる生徒たちの言葉。それはわたしへの「問いかけ」だ。

―自分なりに精一杯生きていきたい。自分らしく熱中して打ち込める何かをしたい。友だちと心がふるえるようなことをしたい。でもどうしたら良いかわからなくて、むしゃくしゃする。とにかくこの思いをわかってほしい。ねえ、先生、どうしたらいい?―無邪気で明るい笑顔の奥に隠れている苦悩。まだまだその苦悩の奥は深く、なかなか見えてこない。でも痛いほど感じるのは、発達要求のエネルギーのすさまじさだ。

わたしのできることは…? 「いつでも話を聞くよ」という安心感を持ってもらおう! 生徒たちの自分探しの旅に寄り添っていこう! 人の輪を広げ、世界を広げて楽しい時間をとともにたくさんつくっていこう! いっぱい、いっぱい笑顔と元気をつくっていこう! それは、この私自身にとっても自分づくりの新しい幕開け。まあ、ぼちぼちいこか…

紙風船の活動

イエローレシートキャンペーン in ベイシティ



ベイシティにてイエローレシートキャンペーンの呼びかけをしてきました！最初は緊張したけど、レシートを入れてもらえるとすごく嬉しかったです！これからも頑張っていきます☆みなさんご協力よろしくお祈いします！

給食始まりました！

毎日完食しています。
苦手なものも食べちゃってまーす。
みんなで一緒にとても
楽しいお昼ご飯です。



野菜がいっぱいあってバ
ランスがいいなって思い
ます。
エビフライが好きです。グ
リンピースは…。でもやっ
ぱり給食はいいですね！

とってもおいしくて、みんなで楽し
く毎日いただいています。
作ってくださる方々本当にありが
とうございます☆

(インタビュー：山口)



調理体験



今回は、ピザとスパゲッティをみんなで力を合わせて、作ってみました！とても美味しくできて良かったです。いや～頑張った甲斐がありました！（成田）



雨に泣いたレクリエーション

前日まで晴天だったのにレクリエーションは、なっ、なんと梅雨入りでカラオケに変更になりました。みんなノリノリで雨を吹き飛ばしました。で～翌日は晴天になりました。ちえ～ついてない。。また！トルワールドに行きましょう！（潮田）



<メンバーの思い>

「楽しい紙風船 ～みんなおもしろい～」

木村 圭宏

紙風船に来て2年がたちました。僕の一番の思い出は、レクでボーリングに行ってストライクをとった事です。写真も撮って良い思い出になりました。

紙風船に来るようになって、楽しみの一つは朝・帰りの送迎です。「おじさんが自転車こいでるね～」「あのトラックの色がジャイアンツみたいじゃない？」というメンバーや職員さんとのさりげない会話が楽しいです。

4月からは愛実の会と合併して、新しい仲間が増え、給食もとてもおいしいです。愛実の人たちも楽しい人がたくさんいて、いろんな車にも乗れるから、とても楽しいです。

これから、やっていきたい事は、パソコンをつかってインターネットを覚えていくこと！人形劇にもでたい！ねずみの役がやってみたいなあ！それから、いつか関島さんと一緒にコンサートで「幸福になる番」「風を下さい」「稲むらの火」を歌いたいな。

これからも頑張っていきますので応援よろしくお願いします。アンコールもお願いします！僕、歌います！どんどん言ってください！

<協力者の思い>

「少しでも力になれば・・・」

村口 智之

こういう形で紙風船と関わり始めて4年以上になります。その間に就職し、休みの時にしか今は来れなくなってしまいましたが・・・。そのわずかなボランティアが役に立っているのであれば幸いです。週一回の一日の時間というのはあっという間に過ぎてしまい、とても寂しい気がします。もっと時間があればなあと思う時もあります。

メンバーと関わっている時間は楽しいし、劇を稽古していても、話し合いをしていても、その他一つひとつの活動をとってみても、自分の中では充実した時間を過ごせている気がします。これからもこんな形でよければ、よろしくお願ひします。

【賛助会員】

【愛実の会】

賛助金 1□ 年2000円
振替口座 00870-3-104866 「愛実の会」

【紙風船】

賛助金 1□ 年1000円
振替口座 00830-7-118540 「紙風船」

※紙風船の賛助会員の皆様へ

口座番号の方が変更になりましたのでお間違えのないよう、よろしく願いいたします。

いつもご協力ありがとうございます。
今後とも温かいご支援よろしく願いいたします。

紙風船より訂正のお詫び

※43号「紙風船」会報の18年度夢づくりグループ会計報告の訂正（19年5月15日発行）

| | | | | |
|------|-------|------------|---|------------|
| 収入の部 | 施設準備金 | 3,310,095円 | → | 2,310,095円 |
| 支出の部 | 施設会計へ | 3,000,000円 | → | 2,000,000円 |

賃借により、記載に誤りがありましたので、訂正の程よろしく願いします。
尚、次期繰越金855,643円は変更ありませんのでご報告致します。

ボランティア募集

- ★仲間達と一緒に活動して下さる方
- ★食事を作って下さる方 など随時募集しています。

興味のある方は、ぜひご連絡ください！！

イエローレシートキャンペーン実施中

毎月11日「イオン・デー」に開催される『イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン』に愛実の会も参加しています。現在港ジャスコベイシティ様とイオン千種店様にボックスを設置させていただいています。ぜひ、ご来店の際はご協力よろしく願います。

<連絡先>

| | |
|--|--|
| <p>特定非営利法人愛実の会 事務局 居宅介護事業所 あみ</p> <p>〒457-0861 南区明治1-5-12 TEL/FAX 052-692-1242</p> | <p>大地の家</p> <p>〒456-0034 熱田区伝馬2丁目28-14 「名古屋働く人の家」内 TEL 052-681-6488</p> |
| <p>紙風船</p> <p>〒457-0845 南区観音町5-109 TEL/FAX 052-694-5458 e-mail ami_kamifuusen@yahoo.co.jp</p> | <p>愛実友だちの家</p> <p>〒456-0057 熱田区五番町18-29 TEL/FAX 052-651-5953</p> |

【編集後記】

4月より「NPO愛実の会」として活動を始め、仲間たちの笑顔とともに、日々活動に取り組んでいます。今号より会報も新しく変わりました。それぞれの施設の事など、新しい愛実の会をこれから皆様にお伝えしていければと思っています。今後ともご支援よろしくお願いいたします。

紙風船 林智恵